



錦城高校新聞
題字 井口 文章
再刊 第226号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2017

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面・クラス一丸となった宿泊研修
予算が前年度より3%減少 物を大切に!
二面・追悼、生物部リクガメのヒメ
大エルミタージュ博物館展へ招待取材

富士山麓に55回生の笑顔咲く

毎年恒例の宿泊研修へ

4月16日(日)〜18日(火)に新一年生464人が「富士緑の休暇村」へ宿泊研修を行った。大自然に囲まれながら、飯盒炊爨は「うすいさん」や運動会などの行事を通して仲間との絆を深めた。
錦城生への第一歩
朝8時に錦城高校に集合し、これから始まる宿泊研修に胸を躍らせながらバスに乗り河口湖へ向かった。バスは11時頃に河口湖畔小海公園に到着し、晴天の下、自由時間をかねて各自昼食をとった。食後は鬼ごっこなど思い思いに過ごす様子が見られ、道の駅の近くにあるソフトクリーム屋では、豆乳味や桜餅の味など15種類からソフトを選び、美味しそうに味わっている生徒もいた。その後、富士山を望むことのできる宿泊先、「富士緑の休暇村」に到着し入村式が開かれた後、体育館へ集まり、学校生活についてのオリエンテーションが行われた。



できあがったカレーを目の前に笑顔を浮かべる新入生たち



新しい仲間と協力して勝利を狙う

2日目は運動会の前半戦が人工芝グラウンドで行われ、綱引き、台風の目、いかだ流しの3つの競技で競った。綱引きでは途中で対戦相手と異なるというハプニングも起きたが、クラスごとに「せーの」を合図に、全員で力を合わせて、変な動きを求めた。1年生は予想以上に協力できていて、「良かった」と笑顔で語った。夕食後、キャンダルファイヤー&フォークダンスが体育館で行われた。全員がキャンダルに扮し、大崎拓海先生と渡辺あや先生が現れ、11人の火の精がロウソクに火を点けて、キャンダルファイヤーが始まった。最初に踊ったオクラホマミキサーは、会場が盛り上がるにつれ軽快に踊れるようになった。マイムマイムでは、錦城オリジナルの掛け声「マイム錦城!」と共に大いに盛り上がった。最後に歌った校歌は、隣の人手を繋いで歌っている人も見られ、

「の」と声を合わせて全員で楽しんだ。
1日の男女混合グループに分かれてカレーライスを作った。火起こしや飯盒について炭を洗うなど慣れない作業も多く戸惑う場面もあったが、知恵を出し合いながら班ごとに個性溢れるカレーライスを作ることができた。カレーは少し辛かったが、「皆で食べると美味しい」という声が上がった。ここ数年、宿泊研修で飯盒炊爨は行われていなかったが、今年度は石塚先生による提案で飯盒炊爨が復活した。
新しい仲間と協力して勝利を狙う
オリエンテーションが完了した。カリキュラムや携帯電話の持ち込みについて説明され、錦城生に1歩近づいたオリエンテーションとなった。夕食後は、翌日のフォークダンスにむけて体育館に集まり練習をした。

予算会議、今あるモノを大切に

4月21日(金)、コンピュータ室で部活・委員会の代表者が集まり、2017年度予算会議が行われた。今年度は新入生の人数が減ったため、昨年度と比べ3%全体の予算が削減される。それに伴い、全ての部活・委員会の予算が3%減額となる。今後、限られた金額の中で大会参加費などに使う予算を優先させるため、各部活・委員会は今年ある物を大切に使い、物品購入費をなるべく切り詰める必要がある。しかし、予算会議の中では、生徒が適切に物品を使用できているか疑問視する声もあがった。



職員室前に置かれている落し物ボックス、心当たりある人はすぐに!

部活動の物品の使い方について、生徒指導部の園分先生に詳しく話を聞いた。タオルやボールが部活動場所に落ちていることや、アイシングに使ったと思われるゴミが放置されていることも気になるといわれる。ジャージが忘れられていることもあり、周りの迷惑になる上に本人も困るのでは、と心配されている。声をかけ合うなどして片付けを徹底してほしいと訴えた。物の管理の問題は部活動以外でも発生しており、職員室前に設置されている落し物ボックスには電子辞書や時計など高価なものが日々届けられている。自分のものが無くなったことに気が付かないで「すかね」と先生。錦城生に意識してほしいこととして「部活動ではお互い気持ちよく使えるように協力してほしい。それに限らず日常生活においても物を大切にしよう」と呼びかけた。心当たりのある人はもちろん、ない人も今一度自分の身の周りの見直しや、落し物ボックスを見てみよう。(湊・棟)

「の」と声を合わせて全員で楽しんだ。
1日の男女混合グループに分かれてカレーライスを作った。火起こしや飯盒について炭を洗うなど慣れない作業も多く戸惑う場面もあったが、知恵を出し合いながら班ごとに個性溢れるカレーライスを作ることができた。カレーは少し辛かったが、「皆で食べると美味しい」という声が上がった。ここ数年、宿泊研修で飯盒炊爨は行われていなかったが、今年度は石塚先生による提案で飯盒炊爨が復活した。

熱狂の渦、軽音ライブ!

4月15日(土)多目的ホールで軽音楽部が行った新入生歓迎ライブは盛大な賑わいを見せた。2、3年生に加え多くの新入生が会場に訪れ、15バンドが様々な曲を演奏して新入生を迎え入れた。最初は気が張っていた新入生も曲を聴くにつれてリズムに乗って体を動かし始め、ライブ特有の会場一体になる雰囲気を楽しんでいるようだった。
今ライブでは複数の2、3年生混合バンドも活躍した。「ハクマイノイズ」は「KEYTALK」の「MONSTER DANCE」を披露。演奏前にボーカルが「踊れる人踊ってください!」と呼びかける。サビに入り観客がボーカルの動きに合わせて踊り出したほか、ラストの曲調が変化する部分では、生徒全員がホール中を円を描くように走った。振付を知らない新入生もリズムに合わせて跳んだり手を振ったりした。先輩から伝承した現在で4代目だという混合バンド「パープルストライプジェリー」。「Deep Purple」の「Speed King」を力強い歌声で響かせた。曲節が早くなると同時に会場の熱が一気に高まり、歌い終えると大きな歓声に包まれた。後半には「Back Again」「繚乱繚者」と迫力のある重音系バンドが続き、ヘッドバンギングや、照明もライブを引き立て、ここ最近で一番の盛り上がりを見せた。その流れは「LSN!!」が「いきものがかり」の「じよいふる」でライブを締めると続き、大盛況で幕を閉じた。(棟)



ボーカルの合図で先輩と一緒に踊り出す新入生

名残惜しい帰り道
宿泊研修最後の日。運動会の後半戦は、グラウンドの状況が悪かったことにより体育館で行った。決戦ということでみんなの気合いも高まっており、円陣を組んで気合いを入れた。全員が一丸となって成長できた運動会だった。
帰り道では、河口湖畔にあるみはらし亭で各々が小さな鍋に入ったほうとうをほおばった。周りから「まだ帰りたくないね」などの声がちらほらと聞こえてきた。お土産コーナーでは、新たにできた友達とペアストラップを買ったり、家族へのお土産を買ったりと、笑顔が溢れていた。

「ボーカーロイド」という言葉が話題になっている。「ボーカーロイド」は人工合成音声のボーカルを中心とした音楽。初音ミクという名前を聞いたことのある人は多いはずだ。最近では小林幸子のボカロ「サチコロイド」もある。ボーカーロイドの作曲家のことをボーカーロイドプロデューサー、略してボカロPと呼ぶ。そのボカロPの一人「OrangeStar」が作った曲が「アスノゾラ哨戒班」だ。最近では2週間ほど前の校内のお昼の放送でも流れている。「OrangeStar」は4年前、高校一年生のとき「ノラボク」というボーカーロイド曲をニコニコ動画に投稿してデビューした。彼の曲は主にボーカロイドに歌わせたものが多く、叙情的なメロディと愛いのある歌詞が特徴だ。多くは夏をテーマにしている。彼が有名になるきっかけになった「イヤホンと蝉時雨」では蝉の鳴き声が曲のいたるところに散りばめられている。もうひとつ、彼の作曲のテーマに「未完成」という言葉があり「OrangeStar」という名前もそこから来ている。「蜜柑星(みかんせい)」という名前もその由来だ。また、彼は「自分がかかっている曲、もっとかかっていたらいいな」といって、自分より下手な自分より能力が低ければ気楽なことに、「自分より下手な自分を探して浸るの優越感」でもその度ちよつと自分嫌って元々「雨さ声残響」の歌詞のようだったと振り返る。悔しむ歌詞と「別にいいんじゃない?無理に強がらなくてもいいんじゃない?」と励ますような歌詞が組み合わさっている。この曲は彼が高校生の時に作り投稿した曲だ。そして、曲の最後が「未完成」と歌って終わる。「雨さ声残響」の歌詞のように私たちがまだまだミカン星人。高校生の間、考えたり行動する時間は有限だがある。私たちはこれからの生活を通じて「未完成」からどんな「完成」へと向かうのだろうか。(柑)

「ボーカーロイド」という言葉が話題になっている。「ボーカーロイド」は人工合成音声のボーカルを中心とした音楽。初音ミクという名前を聞いたことのある人は多いはずだ。最近では小林幸子のボカロ「サチコロイド」もある。ボーカーロイドの作曲家のことをボーカーロイドプロデューサー、略してボカロPと呼ぶ。そのボカロPの一人「OrangeStar」が作った曲が「アスノゾラ哨戒班」だ。最近では2週間ほど前の校内のお昼の放送でも流れている。「OrangeStar」は4年前、高校一年生のとき「ノラボク」というボーカーロイド曲をニコニコ動画に投稿してデビューした。彼の曲は主にボーカロイドに歌わせたものが多く、叙情的なメロディと愛いのある歌詞が特徴だ。多くは夏をテーマにしている。彼が有名になるきっかけになった「イヤホンと蝉時雨」では蝉の鳴き声が曲のいたるところに散りばめられている。もうひとつ、彼の作曲のテーマに「未完成」という言葉があり「OrangeStar」という名前もそこから来ている。「蜜柑星(みかんせい)」という名前もその由来だ。また、彼は「自分がかかっている曲、もっとかかっていたらいいな」といって、自分より下手な自分より能力が低ければ気楽なことに、「自分より下手な自分を探して浸るの優越感」でもその度ちよつと自分嫌って元々「雨さ声残響」の歌詞のようだったと振り返る。悔しむ歌詞と「別にいいんじゃない?無理に強がらなくてもいいんじゃない?」と励ますような歌詞が組み合わさっている。この曲は彼が高校生の時に作り投稿した曲だ。そして、曲の最後が「未完成」と歌って終わる。「雨さ声残響」の歌詞のように私たちがまだまだミカン星人。高校生の間、考えたり行動する時間は有限だがある。私たちはこれからの生活を通じて「未完成」からどんな「完成」へと向かうのだろうか。(柑)

映画研究部
仮入募集中
活動日:毎日
7階部室

合気道同好会
活動日:月火金
時間:15:40~
場所:武道館1階柔道場
毎週日は外部の先生から教わります。

将棋部
7F部室にて
活動日:火水木
初心者大歓迎!!!

室内楽
視聴覚室で活動中!!!

体操部
活動日:月火水木土
第一体育館
水曜日は柔道場

剣道部
活動日:月火木金(16:00~)
土(13:30~)
場所:剣道場
初心者、経験者問わず部員大募集中です。